

1 2 3 各種コンテスト

1 数学コンクール

(1) 日本数学コンクールへの参加

平成 20 年 8 月 10 日（日）名古屋大学工学部で行われた日本数学コンクールに、本校から 1 年生 8 名 2 年生 2 名の合計 10 名の生徒が参加しました。例年通りの午前 10 時 30 分から午後 4 時までの 5 時間半（3 題）問題に取り組みました。

参加生徒の感想より

普段私たちが解く数学の問題とは違うパズル的要素を含んだ問題でした。普段の勉強では養うことのできない力を高め、数学における見識をより広くもち、更なる数学の楽しさに気づけたと思います。また来年も参加したい。

日本数学コンクール結果

優良賞 1 名

奨励賞 1 名

(2) 数学オリンピックへの参加

平成 21 年 1 月 12 日（月：成人の日）名城大学を会場に実施された数学オリンピック地区予選に本校から 1 年生 6 名 2 年生 2 名の合計 8 名が参加しました。試験時間 3 時間（12 題）の試験に取り組みました。

参加生徒の感想より

全 1 2 問を 3 時間で解くというものでした。出題内容・難度も様々でかなり難しく考えさせられる問題もありましたが、自分の数学の力をためすよい機会となりました。



2 物理チャレンジ 2008

(1) 物理チャレンジ 2008 への取り組み

平成 20 年 4 月の初めに、物理学や工学（物理系）を志望する 3 年生理系の生徒に対し、授業等で物理チャレンジへの参加を呼びかけた。当初の希望者は 4 名であったが、受験勉強を理由に 1 名が辞退したため、3 名の参加になった。



物理チャレンジ 2008 の参加者
（銀賞 1、銅賞 1、優良賞 1 であった）

第 1 チャレンジの実験問題に関しては、生徒の希望で放課後に物理実験室で実験をすることになったが、時間がかみ合わず教員は全く相談に乗っていない。

3 名とも 8 / 3 ~ 6 の第 2 チャレンジに挑戦することになり、結果は、1 名が銀賞、1 名が銅賞、1 名が優良賞となった。本校生徒を見る限り、実験より理論が強い生徒が上位に進んだことになる。

上位者が物理オリンピックへ進むためには高校2年生での参加が条件となるが、本校では2年の4月から物理を習い始めるので、物理チャレンジの時には力学さえ終わっていない状況であるので、個人的な興味により中学時より物理の知識を持っている生徒以外は参加を勧めていない(実際に参加したことはない)。

3 全国高校化学グランプリ2008

(1) 企画内容

「夢・化学-21」組織委員会、(社)日本化学会主催で、文部科学省「学ぶびんピック」認定大会の「全国高校化学グランプリ」。「高校生を対象とし、創造性・獨創性を育み、国際的に通用する高校生を育てるための化学教育を目標として、筆記試験、実技試験を行い優秀者を顕彰するとともに、国際化学オリンピックの代表選手を選抜する大会」と謳っている企画である。

(2) 参加と結果

本校がSSH指定校に指定されたのを機会に、SSH初年度から参加し、今年度が6度目の参加となる。参加者の募集は3年理系生徒全体と2年生の一部に呼びかける形で行い、今年度は13名の生徒が一次選考会に参加した。そのうち6名が選出され全国大会(二次選考会)に参加した。

一次選考会(東海支部大会;筆記試験).....7月21(月) 於;名古屋大学

全国で2105名参加 本校参加生徒13名

全国で80名が全国大会へ。本校では6名が全国大会(二次試験)へ出場。

*全国大会に選出されなかった生徒のうち、支部長賞2名・支部奨励賞1名を受賞した。

二次選考会(全国大会;実験を中心とした実技試験)

.....8月23(土)・24(日) 於;東京工大岡山キャンパス他

本校結果;4名が銀賞、2名が銅賞を受賞

うち、2年生の伊藤俊君が、イギリスのロンドンで行われる「国際化学オリンピック」の代表候補に選ばれたが、その後の選考会で代表を勝ち取るまでには至らなかった。

(3) 参加生徒の感想

参加生徒の殆どが、「興味ある問題で非常に有意義だった」「化学の面白さを体験できた」「参加してよかった」などの感想を寄せている。

(4) 今後の参加について

参加生徒の感想に見られるように、化学に興味を持っている(得意としている)生徒には有意義な大会といえる。今後も積極的に参加を呼びかけていきたい。



(参考;過去の全国大会参加者の結果)

2003年度	2004年度	2005年度	2006年度
銅賞1名	金賞1名	金賞2名・銀賞1名	銀賞2名・銅賞1名
2007年度	2008年度		
銅賞1名	銀賞4名・銅賞2名		